第61回 DAM実践セミナー　in NHO静岡医療センター

（静岡県地域医療再生事業）

2004 年の開講以来、500 名以上の麻酔科医が本セミナーを受講されました。

＜本セミナーの内容＞

■このセミナーは、アメリカ麻酔科学会（ASA）によるDifficult Airway Management（DAM）アルゴリズムの考え方を理解し、DAMに必要、有用な手技から、

i) 気管チューブイントロデューサー (Gum-elastic Bougie)

ii) 挿管用 LMA & 気管支ファイバースコープ

iii) 輪状甲状膜穿刺・切開等（**シミュレータおよび豚喉頭を用いた緊急外科的気道確保訓練**）

についてシミュレータを用いて実技を習得するハンズオントレーニングと、高機能患者シミュレータで再現した実際のDAM 症例に複数の参加者がひとつの医療チームになって対応するシナリオトレーニングで構成されます。

■ハンズオントレーニングは、非侵襲的手技だけでなく実際の患者ではトレーニング困難な侵襲的手技も行います。手技の習得のために安全かつ有効な方法です。

■シナリオトレーニングは、単なるテクニック披露の場ではなく、いかにして患者を危機的状況に陥らせないかという考え方の理解を深めてもらうのが目的です。臨床医に求められるNon-Technical Skills(タスク・マネジメント、チームワーク、状況認知、意志決定など)を向上させる機会としても非常に有用です。ご自身が体験した気道確保困難症例をイメージし、振り返りを行う機会にもなります。

■今回は、緊急時の骨髄穿刺手技および超音波カラードップラー骨髄穿刺針位置確認法をトレーニングします。

記

＜開催概要＞

■日時：2014年3月21日（金）8:30～16:30（8:15　受付開始）

■会場：国立病院機構　静岡医療センター　　4階　メディカルスキルアップセンター

■指導：日本医学シミュレーション学会DAM世話人会

■受講料(テキスト、教材費を含む)：無料

■募集人数：　気道管理を専門とする科（麻酔科、救急、集中治療など）後期研修医以降　定員12名

参加される方は、軽装でおこし下さい。

＜注意＞誠に申し訳ありませんが、静岡県内に勤務する医師（常勤、非常勤）に限定させて頂きます。

■申し込み方法：日本医学シミュレーション学会ホームページ：http://www.jsdam.com/ 「セミナー等のお知らせ・申し込み」よりご登録ください

■実施責任者：五十嵐寛（浜松医科大学）

■インストラクター：小澤章子（国立病院機構静岡医療センター）、野村岳志（湘南鎌倉総合病院）、二階哲朗（島根大学）、加藤孝澄（浜松医科大学）、望月利昭（浜松医科大学）

■アシスタント：木村哲朗（浜松医科大学）、桂川孝行（浜松医科大学）、小林賢輔（磐田市立総合病院）

■お問い合わせは、小澤章子（akiko@tsh.hosp.go.jp）宛にお願いします。

Japanese Association for Medical Simulation